

資料2

2. 平成22年度事業方針について

来年度は以下の事業を行う予定である。

1) 症例検討会の実施

会員が勤務する施設と会員が担当している患者様にご協力いただき、症例検討を行う。理事の先生方に助言をいただき、会員の資質向上をはかる機会とする。

2) 講習会・技術講習会の実施

会員および外来講師による講習会・技術講習会を行う。その内容は、理学療法を行うために必要な技術だけでなく、理学療法を行う際に有用な他職種の知識をも取り入れる。また新人会員の教育をさらに充実させる。

3) 第10回症例研究学術大会ならびに懇親会の実施

平成22年12月、神戸リハビリテーション専門学校において第10回症例研究学術大会ならびに懇親会を開催する。鈴木俊明 大会長、渡邊裕文 準備委員長のもとで、特別講演、助成研究報告、症例研究発表を行う予定である。

4) 雑誌「関西理学療法」第10巻の発行

高崎恭輔 先生責任編集により、「関西理学療法 第10巻」を発行する。内容は、平成22年3月に実施する1泊研修会の内容、平成21年12月に開催された症例研究学術大会の優秀演題の論文、平成22年度助成研究論文、そして平成22年度症例研究学術大会の抄録集を予定している。

5) 書籍「症例報告集」((有)アイペック)の作成・出版

鈴木俊明監修、関西理学療法学会編集によって書籍を作成・出版する。

6) 理事会・評議員会の実施

上記事業の運営について検討するため、理事会ならびに評議員会を開催する。

7) 1泊研修会の実施

平成23年3月中旬に1泊研修会を開催する。

8) 講習会「体幹機能と歩行」、「肩関節疾患と理学療法・パーキンソン病と理学療法」

(有)アイペックとの共催により平成22年4月24・25日に講習会「体幹機能と歩行」、平成22年7月31日・8月1日に講習会「肩関節疾患と理学療法・パーキンソン病と理学療法」を開催する。